

令和8年第4回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 9月3日(4日・7日)

No.	質問者	質問項目(答弁者)
1	田上 元一	<u>1. ICT教育について(教育長)</u> <u>一問一答方式</u> GIGAスクール構想に基づき可児市でも小中学生一人1台端末が実現し、ネットワーク基盤整備も進みました。令和7年度には端末更新もされ、第2期に入っているICT教育の現在地と今後についてお聞きします。 質問1 ICT教育に関する基本計画(第1期 令和2年度～令和5年度)に基づき推進して来た可児市のICT教育の成果と課題をどのように認識しているか。 質問2 第2期GIGAスクール構想(NEXT GIGA)で可児市が目指す方向性は。 <u>2. コミュニティ・スクールについて(教育長、市民文化部長)</u> <u>一問一答方式</u> 可児市内全小中学校がコミュニティ・スクールとなり、各学校において様々な取り組みが展開されています。これまでの実践に対する成果と評価、そして今後の課題についてお聞きします。 質問1 コミュニティ・スクールにおけるこれまでの様々な実践について、その取り組みの成果と評価、そして今後の課題をどのように捉えているか。 質問2 地域側の体制である地域学校協働本部、地域学校協働活動推進員の設置状況は。また活動状況はどうか。学校と地域との連携、協働は図られているか。
No.	質問者	質問項目(答弁者)
2	天羽 良明 (可児未来)	<u>1. 本市の建築・土木技術職員の確保、育成策は(市政企画部長)</u> <u>一括答弁方式</u> 「建築・土木技術職員」は、専門性の高さゆえに育成に時間を要する職種であり、その確保と定着は市政運営における喫緊の課題であると考えます。 質問1 建築・土木技術職員の職員数や年齢構成等はどうなっているか。また、採用難に対する危機感はあるか。 質問2 建築・土木技術職員の新卒採用をどのように行っているか。また、採用後は定着に向けた取り組みを行っているか。 質問3 建築・土木技術職採用において重点を置いている点は何か。特に即戦力となる社会人経験者の採用については、何を重視して行っているか。方針を持っているか。

		質問 4 業務の性質上、属人化しやすいと思われるが、建築・土木技術職員のメンタルヘルスやワークライフバランスについて、どのような支援を行っているか。また、若手職員が成長できると実感出来る職場環境づくりへの配慮はどうなっているか。 質問 5 災害発生後のインフラの応急措置や復旧に重要な役割を果たすこととなる人材の育成に対してどう考えているか。
No.	質問者	質問項目（答 弁 者）
3	松尾 和樹 （白い会派）	<u>1. A I 時代における市政運営について（市政企画部長）</u> <u>一括答弁方式</u> 生成 A I の全庁利用が始まる中、職員による内製を生かしつつ、属人化を防ぎ、外部知見も取り入れながら、職員の働き方改革、市民福祉の向上及び持続可能な市政運営につなげる方策を問う。 質問 1 生成 A I の活用を職員の働き方改革、市民サービスの向上及び持続可能な市政運営につなげるため、どのような到達目標と工程を定めて取り組む考えか。 質問 2 職員による内製を持続可能なものとするため、A I 活用を支える中核人材を複数育成し、知識や経験を組織内で共有・継承する体制をどのように整える考えか。 質問 3 職員による内製を基本としつつ、外部専門人材の助言や伴走支援を、どのような分野、時期及び方法で活用する考えか。 質問 4 A I 統括責任者の下、利用状況とリスクの定期的な検証、利用規定の見直し及び問題発生時の対応を含む A I ガバナンスを、どのように強化する考えか。 質問 5 生成 A I の利用効果をどのように検証し、その成果を職員の働き方改革と市民サービスの向上へ結び付ける考えか。
No.	質問者	質問項目（答 弁 者）
4	渡辺 仁美 （可児未来）	<u>1. 女性の視点を踏まえた避難所運営（総務部長）</u> <u>一問一答方式</u> 避難所運営マニュアルの整備等、防災力は高まっているが、女性への配慮が安心・安全な避難生活には欠かせない。女性の視点を踏まえた避難所運営への考え方と今後の取組を伺う。 質問 1 女性の視点を取り入れた防災施策について 質問 2 避難所における空間配置について 質問 3 避難所の安全対策について 質問 4 更衣室・授乳室等の環境整備について 質問 5 女性に配慮した物資の提供について

		質問6 女性の視点を取り入れた避難所づくりについて
No.	質問者	質問項目 (答 弁 者)
5	澤野 伸 (会派きずな)	<u>1. 夏休み期間中の学校施設開放に関する本市の考えは (教育長、市民文化部長)</u> <u>一括答弁方式</u> 文部科学省が本年7月3日に、夏休みを含む長期休業期間中の子どもの学びや体験活動を充実させるため、学校施設や社会教育施設の積極的な活用を求める事務連絡を出した。急な要請であったが、本市の対応は。 質問1 夏休み期間中の学校施設開放に関する本市教育委員会の認識は 質問2 長期休業期間全般においても、地域の実情に応じた取り組みは 質問3 キッズクラブ事業との兼ね合いは 質問4 教職員が「対応しない」とされる運用の実効性について 質問5 トラブル発生時の責任の所在と危機管理体制について 質問6 教職員の働き方改革との整合性について 質問7 学校現場への説明と準備期間の不足について 質問8 地域の子どもの居場所づくりと学校の役割の整理について 質問9 地域における様々な関係者の連携・協力の推進は
No.	質問者	質問項目 (答 弁 者)
6	野呂 和久 (可児市議会 公明党)	<u>1. 子どもの心を育む芸術鑑賞の取り組みについて (教育長、市民文化部長)</u> <u>一問一答方式</u> 文化庁は「子どもたちの心や想像力を育てる」事業である劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験事業を2021年度から開始した。アールで当支援事業が採択され子どもたちが鑑賞している。その成果等を問う。 質問1 文化庁の支援事業の応募動機と鑑賞体験の機会拡充の考えは。 質問2 子どもたちへの広報方法や支援事業の成果は。 質問3 市内小中学校の体験学習活動や文化庁の支援事業 (学校巡回公演) の活用状況は。
No.	質問者	質問項目 (答 弁 者)
7	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<u>1. 健康寿命を延ばすためには (福祉部長)</u> <u>一問一答方式</u> 人生100年時代と言われ、どう健康寿命を延ばすかに関心が高まっています。住民主体のフレイルサポーター、シニアeスポーツの導入、学びの機会の拡大等でシニアの生活の質を図ることを提案します。 質問1 西東京市のような住民主体のフレイルサポーターを考えてはどうか。

		質問 2 本市の認知症予防策に、シニア e スポーツを取り入れてみてはどうか。 質問 3 もっと学びたいというシニアの声にどう応えていくか。 質問 4 外階段手すりの取付けを、介護保険地域支援事業の任意事業でできないか。
No.	質問者	質 問 項 目 (答 弁 者)
8	川上 文浩 (可児未来)	<u>1. 廃線が決まった名鉄広見線新可児駅～御嵩駅間の市民への影響と跡地利用について (建設部長)</u> <u>一問一答方式</u> 名鉄広見線新可児駅～御嵩駅間が廃線となることが決まった以上、その残された鉄道施設の在り方や利用方法など市民影響を考えると早急にその考え方や対応を示さなければならない。市の見解を問う。 質問 1 廃線に伴う様々な市民生活への影響は。 質問 2 廃線となった名鉄八百津線の現状は。 質問 3 廃線後の鉄道施設の在り方は。 質問 4 跡地等の具体的な整備計画は 質問 5 新しい公共交通の在り方は。 質問 6 新可児駅へのアクセスについて。
No.	質問者	質 問 項 目 (答 弁 者)
9	板津 博之 (やろまい・可児)	<u>1. 可児市地域防災計画改訂と実効性ある防災体制について (総務部長)</u> <u>一問一答方式</u> 令和 8 年 5 月に可児市地域防災計画が改訂された。今回の改訂では、能登半島地震の教訓や国・県の地域防災計画の見直しを反映した内容となっているが、地域防災力向上に向けた実効性について検証する。 質問 1 分散避難への対応について (1) システムはどのような仕組みで、誰がどのように登録することを想定しているのか。 (2) 避難所以外で生活する方に対する食料、飲料水、医薬品、トイレなどの支援はどのように実施するのか。 (3) 高齢者などデジタル機器の利用が困難な方への対応をどのように考えているのか。 質問 2 能登半島地震の教訓を踏まえた対策について (1) 小型化・軽量化した車両や資機材の整備は現在どこまで進んでいるのか。 (2) 応援職員の宿泊施設や活動拠点の確保は十分整備されているのか。

	(3) ドローンや衛星通信など新技術は具体的にどのような場面で活用を予定しているのか。 質問3 南海トラフ地震臨時情報への対応について (1) この見直しを行った理由は何か。 (2) 巨大地震警戒が発表された場合でも避難所を開設しないことについて、市民の理解をどのように得ていくのか。 (3) 自主避難を希望する高齢者や要配慮者への対応をどのように考えているのか。 質問4 指定避難所の縮小について (1) 避難所を削減した最大の理由は何か。 (2) 想定避難者数を上回るとの説明であるが、豪雨災害と地震が重なる複合災害など想定外への備えは十分か。 (3) 指定から外れた施設について、市民への周知はどのように行うのか。 (4) 地域住民が誤って旧避難所へ避難した場合の対応をどのように考えているのか。 質問5 物流・活動拠点の変更について (1) 変更した理由は何か。 (2) アーラは文化施設であるが、大量の支援物資や応援部隊を受け入れるスペースや動線は十分確保できるのか。 (3) 平常時からどのような訓練を実施していくのか。 質問6 帰宅困難者対策について (1) 何人程度の受け入れを想定しているのか。 (2) 飲料水や毛布、携帯電話充電など最低限の備蓄はどの程度整備されているのか。 (3) JR・名鉄・バス事業者などとの連携体制は怎么样了のか。 質問7 遺体安置体制について (1) 災害時に協定事業者が被災した場合の代替策はあるのか。 (2) 身元確認や警察との連携体制はどのように整理されているのか。 質問8 今後の課題について (1) 改訂内容の周知方法及び市民や関係団体と連携しながら「実効性ある地域防災力」の向上をどのように図っていく考えか。
--	--

No.	質問者	質問項目（答 弁 者）
10	山田 喜弘 (可児市議会公明党)	<u>1. 財政運営について（市政企画部長）</u> <u>一括答弁方式</u> 政府は飲食料品の消費税率を1%に引き下げることに関議決定した。本市財政に与える影響は何か。また、金利上昇局面において本市の資金運用や市債発行や償還における今後の取組みを伺う。 質問1 飲食料品の消費税率引き下げの影響は 質問2 金利上昇局面において認識及び本市の財政にあたる影響について、資金運用や市債発行や償還について今後どのような考え方をしているのか 質問3 市債の償還方法についてどうなっているのか 質問4 市債について経済状況の変化にともなう条件変更のルールを持っているのか 質問5 市債返済について据置期間を設けている理由はなにか 質問6 地方公会計を活用した財政運営についてどのように行っているのか <u>2. 道路管理のAI活用について（市政企画部長、建設部長）</u> <u>一括答弁方式</u> 本市の道路管理の現状を伺う。また、道路管理にAIを活用する場合の課題は何か。併せて本市の屋外作業等の公務職場における熱中症対策を伺う。 質問1 本市の道路点検と道路台帳の整備状況について伺う 質問2 道路管理にAIを活用する場合の課題はなにか 質問3 本市の道路管理等の屋外における公務職場の熱中症対策を伺う
No.	質問者	質問項目（答 弁 者）
11	伊藤 健二 (日本共産党可児市議団)	<u>1. 件名：中小事業者への経営支援の具体化を（経済交流部長、福祉部長）</u> <u>一括答弁方式</u> ホルムズ危機による石油・ナフサ不足問題は深刻な影響を与え、仕事の受注があっても資材の供給が届かない状況だ。市内関連事業者への経済的支援策を問う。 質問1 地元小規模商工業者・農業者の経営実態はどうか。 質問2 思い切った金融支援策を検討する考えはあるか。 質問3 国保加入者の現年度分国保税につき、申請減免制度を紹介し、丁寧な対応はできないか。

	2. 合特法に係る代替業務の随意契約の改善を（市民文化部長） 一問一答方式 平成 29 年 4 月契約の転換業務確認書について、この際締結 10 年経過で見直しを行い、随意契約方式による代替（転換）業務量の見直しと削減策を問う。 質問 1 代替業務は件数が減り契約額は増大している。市は金額増大をどう評価しているか。 質問 2 汚水処理事業等には指名競争入札では無理があるのか、業務提供になじまない側面があるのか、市の見解はどうか。 質問 3 契約金額の増大について、市の対策はどのようなものか。
--	--

※この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。